

戦後 70 年 よみがえる日本の姿

～オーストラリア戦争記念館所蔵写真展～

開催趣旨

このたび昭和館では、「戦後 70 年 よみがえる日本の姿 ～オーストラリア戦争記念館所蔵写真展～」と題し、特別企画展を開催する運びとなりました。

オーストラリア戦争記念館(在キャンベラ)は、主に第一次世界大戦から近年に至るまでの戦争に関する資料を所蔵・展示していますが、オーストラリアが主要国として英連邦占領軍に参加し、日本に進駐したことから、日本国内の写真や映像を多く所蔵しています。

戦後の焼け跡や復興を遂げつつある日本を記録した、外国人撮影による写真は数多く残されており、昭和館においても様々な形で公開をしています。しかし、その多くは日本全国を統治していたアメリカ軍による記録でした。今回ご紹介する写真は、オーストラリア軍が呉と東京という2都市を集中的に撮影したということや、国内の街並み、光景だけでなく、英連邦軍基地内外での日本人と兵士の交流の様子が多く撮影されている点が最大の特徴といえます。

本展では、その中から写真約 100 点と映像をご紹介します。

記

【主 催】	昭和館
【後 援】	外務省 オーストラリア大使館
【会 期】	平成 27 年 3 月 21 日(土)～5 月 10 日(日)
【会 場】	昭和館 3 階 特別企画展会場
【入 場 料】	特別企画展は無料(常設展示室は有料)
【開館時間】	10:00～17:30(入館は 17:00 まで)
【休 館 日】	毎週月曜日(5 月 4 日は開館)
【内 覧 会】	平成 27 年 3 月 20 日(金) 15:00～17:00
【所 在 地】	〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1
【問い合わせ】	T E L 03-3222-2577 F A X 03-3222-2575
【交通(電車)】	地下鉄【九段下駅】から徒歩 1 分(東西線・半蔵門線・都営新宿線 4 番出口) / J R 【飯田橋駅】から徒歩約 10 分
【交通(車)】	首都高速西神田ランプから約 1 分
【ホ-ム・ペ-ジ】	http://www.showakan.go.jp
【そ の 他】	有料駐車場有り(普通乗用車のみ・30 分 200 円)

展示構成

プロローグ 終戦そして降伏

昭和 20 年(1945)8月 15 日、正午のラジオ放送により、長く続いた戦争が終わり、日本が降伏することを国民は知りました。

そして連合国最高司令官ダグラス・マッカーサーが来日し、9月2日に降伏文書の調印式が行われました。日本は連合国の統治下に置かれることになったのです。



降伏文書調印式の開会スピーチをする
ダグラス・マッカーサー
昭和 20 年 (1945) 9 月 2 日



降伏文書に署名する重光葵外務大臣
昭和 20 年 (1945) 9 月 2 日

I 終戦直後の東京

英連邦軍(BCOF:British Commonwealth Occupation Force)が広島県呉市に進駐するのが昭和 21 年(1946)2月、東京に分区が認められるのが同4月ですが、その前後の時期から一部の英連邦軍は、東京の焼け跡の様子をとらえていました。



焼け跡で遊ぶ子どもたち
昭和 20 年(1945)9月頃



国会議事堂とその一帯
昭和 20 年(1945)~21 年

II 呉の街と人びと

1. 街並みと人びとの生活

昭和 21 年(1946)2月、英連邦軍(BCOF)は呉に上陸をはじめ、それまで進駐していた米陸軍の統治を引き継ぐことになりました。

当初は呉の人びととの間に緊張が走り、問題も起きたようですが、次第に打ち解けていくようになっていきました。



配給待ちの列に並ぶ子どもや女性たち

昭和 21 年(1946)7月



華街の交差点に立つ人びと・中通り6丁目付近

昭和 22 年(1947)~27 年

2. 日本人との交流

呉の街に、兵士でない女性の姿が見られるのは、オーストラリアが家族の日本への同行を認めたからです。オーストラリアの女王は、イギリスのエリザベス二世世であるため、彼女にまつわるイベントが行われていたのも呉の街の特色と言えるかもしれません。休日に呉周辺の観光地を訪れる英連邦軍兵士の姿も多く見られました。



呉市営プールで行われた日米豪交歓水上競技呉大会・二河公園

昭和 25 年(1950)8月 20 日
 ※古橋廣之進は、この大会の 500 メートル自由形で 5 分 55 秒 8 の世界新記録を樹立した。指定席には豪軍将兵、家族が華やかな国際色を彩った。



(参考展示)

ポスター「アメリカ日本交歓水上競技呉大会」
 昭和 25 年(1950)



戴冠式祝賀行進を見物する人びとと英連邦軍兵士

昭和 28 年(1953)6月2日
 ※この日、エリザベスⅡ世(現女王)が英国の女王として公に王冠を受け、就任を宣明する戴冠式が行われた。



三味線と琴の演奏をラジオ番組用に録音する
 英連邦兵士

昭和 29 年(1954)8月5日

3. 子どもと兵士のふれあい

子どもたちは、戦後生まれが多いのかもしれませんが。子ども昭和 25 年(1950)～28 年撮影の写真に登場する子どもたちは、戦中生まれの子が多いと思われませんが、昭和 30 年代撮影の写真に登場する子どもたちの表情に、それは見て取れるでしょうか。



オーストラリアの子どもの前で絵の腕前を披露する日本の子ども

昭和 25 年(1950)7月



子どもたちと遊ぶ英連邦軍兵士

昭和 29 年(1954)12 月 21 日

Ⅲ エビス・キャンプからみた東京

1. 復興していく東京

昭和 26 年（1951）頃になると、東京の街にも人びとの活気が戻ってきました。

浅草、銀座などの東京名所では、日本の生活に溶け込む英連邦軍兵士の姿が多くみられました。



浅草仲見世を歩く英連邦軍兵士

昭和 30 年(1955)1月 11 日



渋谷駅前のハチ公と、建設中の東急東横百貨店

昭和 30 年(1955)1月頃

2. エビス・キャンプにて

エビス・キャンプの正門の上には、British Commonwealth Sub Area という記述があり、ここが英連邦軍の進駐にあたっての東京分区であったということを示しています。キャンプ内では多くの日本人が働いており、技術的交流や娯楽や行事を通じた交流が数多く生まれました。

現在は、防衛省防衛研究所(目黒区)となっています。



大晦日を祝う日本人と英連邦軍兵士

昭和 29 年(1954)12 月 31 日



日本人職員が差し出す書類にサインをする

昭和 30 年(1955) 9月 15 日

3. 子どもたちへの贈り物

エビス・キャンプは、昭和31年(1956)1月に接收解除となり、英連邦軍は同地を去ることになります。ここでは、二葉保育園の子どもたちとBCFK(British Commonwealth Force in Korea:英連邦朝鮮派遣軍)兵士の交流の様子を紹介します。まもなく東京を去る兵士たちの胸中が、子どもたちとのやりとりの中に現れているような光景です。



二葉保育園にカーニバルの売上金を寄付する

昭和 29 年(1954)9月6日

※二葉保育園は、戦災孤児の救済活動を行っており、英連邦軍は前年より支援を行っていた。



エビス・キャンプでのクリスマスパーティーに招かれた子ども

昭和 30 年(1955)12 月

イベント

(1) 講演会

期日：4月11日(土) 14:00~15:00

演者：千田武志^{ちだたけし}氏(※)

題目：「日本人と英連邦兵士の交流について(仮)」

場所：昭和館1階ニュースシアター

※整理券(60枚)を13:00から配布します。

※千田武志氏のプロフィール

昭和21年(1946)岩手県生まれ。

呉市役所市史編纂室、福山大学兼任講師、広島国際大学教授を歴任。

主な研究分野 近代日本経済史、日本医療史

<主な論文>

「戦時体制下の地域開発—広島工業港の建設を例として—」『広島県史研究』(2) 昭和52年(1977)

「英連邦占領軍形成に関する一考察」『広島大学経済論叢』平成5年(1993)

<主な著作>

『英連邦軍の進駐と展開』御茶の水書房 平成9年(1997)

<主な編著>

『呉市史(第5巻~第8巻)』(執筆) 呉市 昭和62~平成7年(1987~95)

(2) 昭和体験イベント

大道芸や飴細工の実演、昔の遊びなどを中心としたイベントを行います。

期日：4月4日(土)・5日(日) 11:00~15:30

場所：昭和館2階ひろば

(3) 展示解説

担当者による展示解説を行います。

期日：3月29日(日)・4月29日(水) 14:00~(約45分)

場所：昭和館3階特別企画展会場

【問い合わせ先】

昭和館学芸部 03-3222-2577

担当：藤川・坂尻